

2018年3月期第2四半期 決算説明会Q&A

Q: T&M事業のQ2営業利益率がQ1と比較して改善している理由は？

A: 新製品投入やコストダウンの強化による粗利率の改善、及びR&D費や販管費の効率化による。

Q: LTE-Advanced Pro関連の投資が顕在化したとのことだが、どのような測定需要か？

A: オペレータの高速化計画を実現するためのGigabitLTE開発用測定需要。

Q: 今後期待されている5G関連のビジネスの見通しに変化はないか？

A: 見通しに変化はない。Q4から5G関連の投資が顕在化していくとみており、無線技術や通信技術の高度化にともなう試験需要を見据えて、製品開発に取り組んでいる。

Q: PQA事業が、2020年度 売上高250億円、営業利益率12%を達成するために現在どのような課題に取り組んでいるか？

A: 競合との差別化を一層図るため、新製品開発、販売網及び保守サービス体制をグローバルに強化している。